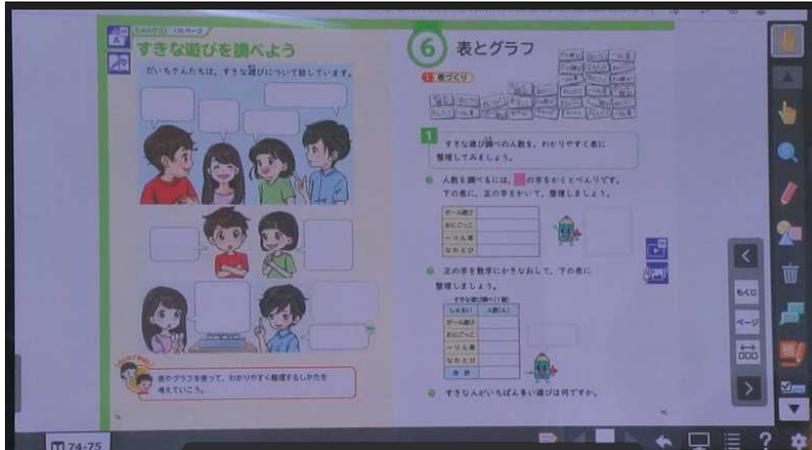


楽しい学校！

～デジタル教科書での学び～

毎日の授業の中で「デジタル教科書」が使われるようになってからだいぶたちました。手元にある教科書の絵や図が大きくなったり小さくなったり、ピョーンと動いたりするので、事象が視覚的に捉えやすく子どもたちも直感的に理解できます。



左の画面は実際のデジタル教科書（算数）の画面です。子どもたちの手元にある教科書と同じものが大型テレビに映し出されています。このあと、担任が説明しながら操作すると、教科書の中に文字が現れたり、実際に表や図形が動いたりします。

これによって、数理のイメージが視覚的に捉えやすくなります。目の前の画面が動くので興味・関心も高まり意欲がわきます。意欲がわくと課題に対して前向きになり見通しも立てやすくなります。見通しが立つと解決までの道のりが確かなものになります。そうすると理解度が高まり定着度も上がります。

紙の教科書とワークシート、ノート学習等々とのバランスを保ちながらこういったものもうまく活用して、少しでも「分かる」「できる」を実感し、昨日の自分を超えていける楽しさを味わわせてあげたいと思います。

「あれ」の正解 ～10～



グローブジャングル

ジャングルジムは、1920年にアメリカで生まれ、日本でもあつという間に広まりました。この回転式のジャングルジムを開発したのは、なんと「日都産業」という日本のメーカーだそうです。

取引先の人が見て、「こんな遊具があつたら楽しいだろうなあ。」と呟いたことがきっかけとなり、1951年に第一号が作られたとのこと。

思ったことを言葉にしてみることは大事ですね。何がきっかけで思いが実現するかわかりませんよ。



20220704